



2024. 6. 10

令和6年度現職教員研修
開講式の様子

筑波大学特別支援教育連携推進グループ 令和6年度現職教員研修の開講式の様子 (指導力向上研修・1か月)

令和6年度現職教員研修(指導力向上研修・1か月)が始まりました。今年度一人目の研修生は、青森県立八戸第一養護学校から派遣された高村一也先生です。6月10日(月)から7月10日(水)の1か月間、茗荷谷の筑波大学東京キャンパスと、附属桐が丘特別支援学校で研修を受けます。

高村先生の研究テーマは、「重度重複障害児との適切な意思疎通方法の追究」です。この研究のなかで、「実態把握の一環としての学習履歴の明確化」、「心理的な安定のための教師の働きかけのルーティン化」、「児童生徒の表出の読み取りに関する意見交流」について取り組むことになっています。

特別支援教育について多角的な視点も養いたいと、研修中は、附属視覚特別支援学校、附属大塚特別支援学校、附属久里浜支援学校も見学します。梅雨も近づき、東京は蒸し暑い日が続くことになりそうですが、体調に留意しながら研修に励んでいただきたいと思います。また、有意義な成果を上げられることを期待しています。



雷坂次長の挨拶



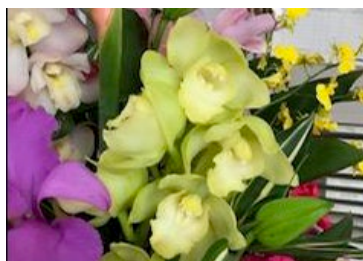
高村先生の挨拶



竹田グループ長の挨拶



高村先生を囲んで



開講式の様子